

村上市議会議員

川村としはる

議員活動報告

第7号

(2008年7月発行)

発行者：川村としはる後援会

村上市荒島 1065-2

TEL.090-3149-4707

発行責任者：川村 敏晴

新村上市の初議会

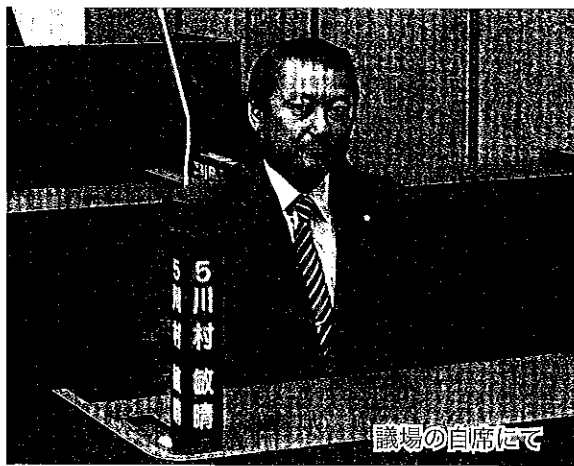
6月定例会終わる

21人が落選した超激戦の選挙終了後の5月19・20日の臨時議会で、議長・副議長・教育委員等が選任され、また議会構成も決定し、6月2日より、6月定例会が始まりました。

定例会初日は、副市長を2人とする定数条例案が、一票差で議会否決されるという波乱のスタートとなりましたが、一票差とはいえ市民の代表の議会決定に真摯に従うとして、市長は副市長の人事案件の取り下げをしました。

しばらくは副市長不在の激務となると思いますが、市政の停滞を招くことなく、き然とした指導力を発揮してもらいたいと思います。

さて、そんな中での6月定例会ですが、6日は6党派による代表質疑、翌週10日から12日の3日間で15人の一般質問があり、2日目午後から私も一般質問をさせていただきました。



ちなみに本会議の様子は、市役所ロビーのモニターでもテレビ放映してあります。また、朝日地区では光通信により朝日ネットを契約の方々は、ご家庭のテレビで本会議の様子が見られたそうです。

時代は着実に進化している事を痛覚します。

そして長かった今定例会も、6月27日の最終日に、ある議員から予算の一部修正を求める動議が出され審議されましたが、反対多数で否決されました。

また、予算案全てに対して3人の議員が反対を唱えました。が、これも、今予算に対して賛

成多数で可決され、他の議案もすべて可決され議会は無事終会と成りました。

今後は、この予算が粛々と執行されるよう、議員として注目してまいります。

また、8月中旬に発行予定の「議会だより」にも、私たちの一般質問の概要が600字にまとめられたものが掲載されますが、持ち時間50分間の一問一答のやり取りを、できるだけ詳しくお伝えし、私の議員活動の方向性を、ご理解いただければ幸いです。存じまして、この活動報告でご紹介させていただきます。

川村としはるの一般質問

問1 選挙公約である奨学金制度は、来年度に間に合うか？また、対象者は？財源確保はどの様に考えているのか？

答 平成21年度から導入したいと考えているし、対象は大学生・短大生・専門学生とする予定である。

財源確保は、基金の活用も含め予算化したい。詳細は今後教

育部局で検討していく。

再質問 財源的にも大変厳しい中、国内には多くの奨学金制度がある、また、進学を希望する

高校三年生がこれらの各種奨学金制度を自ら調べ申し込みをすることは大変な作業でもあり、

また、高校在学中に家庭的経済困窮にあつた生徒の指導なども含めて、新市の奨学金支給の規定だけでなく、総合的な学業支援ができるエキスパートを市で養成していく考えはないか？

答 奨学金は貸し付けであり大学を卒業してから、14、15年かけて返済してもらうわけで、山北町の奨学金を借りた人は全員返済しているし、1回ローテーションすればお金は戻ってくるので、市独自の奨学金制度を検討して行く、また、高校生の経済支援は社会福祉協議会で対応してもらえると考えている。

問2 スポーツ少年団や高齢者のスポーツ大会など各種大会遠征時の足としてや地域住民の有効な足としてのコミュニティバスの運行計画は？

答 施政方針でも在る様に生活交通確保対策としてコミュニティバスの運行を検討して行く予定である。

再質問 新発田市が運行しているようにNPO法人を設立して、通勤通学や買い物足としての定期路線運行部門と各種団体の不定期な送迎を目的とした部門にわけた、市の所有するバスを有効利用する方法は考えられないか

答 新発田市のNPO法人による運行であることは承知しているので、参考にして今後検討して行きたい。

再々質問 コミュニティバス運行を進めるについては、地域公共交通会議を開催しなければならぬが、予定はないのか。

答 地域の利用者や道路管理者・交通機関などの方々と協議会を持ち地域の実情にあつた運行計画を立てる事を目的としているもので、財政支援もあり、今後検討をしていかなければならないと考えている。

問3 中条工業高校跡地利用に

ついては、旧荒川町と県とで買取り交渉が進んでいたわけだが今後の取り組みは？

答 合併協議事項として話し合われたが、今後新市の全体計画として再度検討していくつもりである。

再質問 荒川町時代は、震災等の災害時の避難場所として、また、地域のスポーツ団体からは、体育館やグラウンドの利用ができないのかとの要望が私のところにも届いていて、県教育委員会に確認したところ、市が譲渡を受ける事が事実であれば無料で使用も可能とのことでしたが、市で県教育委員会に無償利用の申請をしてみてもどうか？

答 あくまで新市全体計画として検討して行きたいと考えている。

問4 旧荒川町いこいの家は、荒川地区の高齢者の楽しみの一つであつたが、再生計画はどの様に考えているか？

答 日帰り入浴施設としての具体的な計画を今年度中に策定するつもりである。

再質問 施設は使用できなくとも、温泉水は今でも噴出しているわけであるから、温泉を楽しむにしている高齢者の方々に、温泉水を無料で宅配する等のお考えはないか？

答 かつて山北でもコイン販売や宅配もやつた事があるが、当初は人気があつても徐々に利用がなくなつてしまつていて、そのようなこともあり、現段階では難しいと考える。

問5 旧村上市の都市計画道路である「3・4・4和町羽黒町線」は、歴みち調査計画策定委員会の報告書で道路幅が問題となつているが、市長の歴みち計画見直しの真意は。

答 災害時や火災時の事を考えれば10・5m道路では、安心安全な道路とはいえず、広げる必要があると考えている。

しかし道路幅等のあり方については、地域の意見が二分している様なので、地域住民の意見を良く聞きながら、進めていく必要があると思つている。

再質問

この都市計画は、いまだ法律として有効であるか。その場合、国、県、村上市の負担割合はどのくらいか？

答 現在も都市計画として継続している。

負担割合は、この道路は県道であり、県が国から55%の交付金を受け、村上市は8%の負担率の事業である。

再々質問

仮に歴みち事業となつた場合の、それぞれの負担率はどうなるか？

答 歴みち事業となると、一つの事業としての計画ではなくなるので、市の負担が何%であるかという数字は今手元になく、言えないが、歴みち計画以外に、市が60%の負担する街づくり交付金事業と・市が30%負担する町並環境整備事業の3事業で進める必要がある。

以上です

一般質問の趣旨

1、奨学金制度については、大学や専門学校に、本当に行きたいけど家庭の経済が許さない



6月定例会一般質問の様子(イメージです)

場合、新市の奨学金のみならず、国内の奨学金制度を広範囲に活用し、1人でも多くの志高き若人の支援に当たってほしいとの願いがあります。

2、形だけでなく実施的に交通弱者の為の足として、そして社会教育の範囲を、スポ少や高齢者の体育団体まで広げた視野で、役所バスの運行を規定すべきであり、コミュニティバスの運行のためには、専門の部課の創設が不可欠であると考えます。

3・4は、荒川地区においても、村上市にとっても、有益な資産となりえるものと思っておりますので、速やかな対応を願っています。

5の問題は、関係住民の長年のこの都市計画に対する協力姿勢を見聞きする中で、この地区の歴史的景観保存と安全安心な道路のあり方を、地域住民の声をしっかりと再確認する必要があります。

これらの一般質問は、今回で終わるものではありません、あくまで市民の有益な事業であるならば、今後も行政の明確な姿勢を確認していくつもりです。

皆様のご支援のお陰を持ちまして、これからも議員として、議会活動に全力投球をしまいにあります!!
本当にありがとうございます、ございました。

これからも、皆様の「目と耳・耳となり・口となつて」、皆様のためになれる議員活動に一生懸命に取り組んでまいります!

本当に厳しい選挙戦でありました。

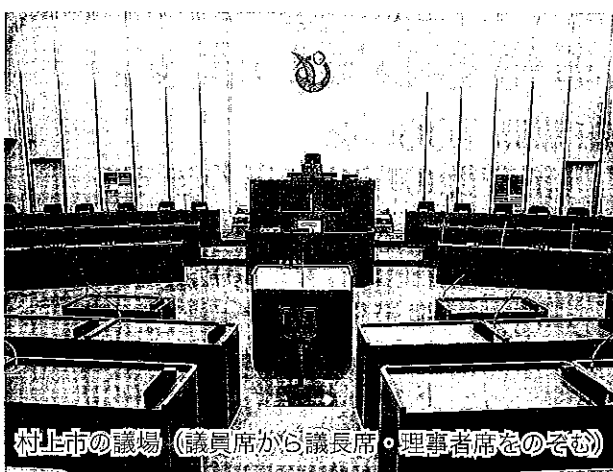
しかしこの選挙戦を通して、新村上市のほぼ全域に顔を出さ

せていただきました。そして、わずかではあります、それぞれの地域性というものを感ぜさせていただくことができました。

環境や人情というものが、それぞれの地区によって、それぞれの持ち味があることに触れたような気がしています。

今後は、もっともっと村上市全域に足を運んで、大勢の方々と触れ合っていきたいと思っています。

どうか、今後とも、皆様の生の声をお聞かせいただければ幸いです。



村上市の議場 (議員席から議長席・理事者席をのぞむ)

新村上市議会の議員構成

村上市議会議員の各会派

会派名	員数	氏名
鷲ヶ巣会	7名	◎板垣一徳 *小大信 木大信 大木久 大久信 大久信
清流会	5名	◎三田敏 *平山修 石川健 小川重
かけはし	5名	◎中川山一 *板村敏 岩倉栄 瀬賀幸
新生会	3名	◎小野七三 *姐路敏 山田勉
つきさらクラブ	3名	◎滝沢武司 *小富和也 小富栄一
村上未来	3名	◎長谷川孝夫 *山田昭 佐藤吉 小池晃
民主おらかみ	2名	◎小本池間 晃清
日本共産党	1名	◎*相馬工一
公明党	1名	◎*板垣千代子

備考 ◎:会派代表 * : 経理責任者 敬称略

広報特別委員会

委員名
滝沢 武司 (委員長)
鈴木いせ子 (副委員長)
板垣千代子
本間 清人
川村 敏晴
小池 晃
平山 耕
大滝 国吉

敬称略

議会特別委員会

委員名	会派名
長谷川 孝 (委員長)	村上未来
瀬賀 秀雄 (副委員長)	かけはし
板垣 一徳	鷲ヶ巣会
大滝 国吉	鷲ヶ巣会
石嶋 修平	清流会
山田 勉	新生会
富樫宇栄一	つきさらクラブ

敬称略

副議長 長 佐藤 三田 敏 秋吉
議長 長 藤 宮 吉

4つの常任委員会の議員構成

委員会名	員数	氏名	委員会の所管
総務常任委員会	8名	◎大久志 岩倉久 瀬賀久 石嶋久 佐藤久 小池久 平山久 大滝久	議会事務局、企画部、総務部、会計管理部、消防本部、選挙管理委員会、及び固定資産の管理に関する事項
市民経済常任委員会	8名	◎中三梯 *板田敏 板岩倉 瀬賀幸 山田久 大滝久 藤田久 山田久	市民部、産業観光部、及び農林水産部の所管に関する事項
厚生文教常任委員会	7名	◎川崎健 *小川敏 小長和 小相工 小相千 小相代	福祉保険部、教育部の所管に関する事項
建設企業常任委員会	7名	◎小田信 *板垣久 平山久 木村久 木村久 木村久 木村久	都市整備部及び上下水道部の所管に関する事項

◎は委員長 ○は副委員長です。 敬称略

敏晴への苦言・提言

【言】 他の当選議員は、早々とお礼回りに来ているのに、川村はどうして来ないんだ！

【答】 誠に申し訳ございません。そのとありでございます。

選挙前には一生懸命頼みに来るくせに・・・この指摘は私の耳にも痛いほど届いております。

言い分けになります。選挙法の規定により、選挙後のお礼回りは違反行為として禁止されており、今回の選挙時も選挙管理委員会からの文書にも記載されており、せっかくながら支援をいただいた皆様にご迷惑をかけたためにも、自重させていただきます。

しかし、今の感謝の気持は、必ずこれからの議員活動でお返しさせていただきますので、どうかご理解をお願いいたします。

※今回のように、私の議員活動に対して、きたんのないご意見やご忠告は大変ありがたく思っています。

これから、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

市民の皆様からのご意見をお待ちしています。

- お手紙やハガキ：〒950-3103 村上市荒島1065-2
- 携帯電話：090-3149-4707 (留守録の場合もあります)
- メールアドレス：niheiji@sweet.ocn.ne.jp
- ホームページ：http://www2.ocn.ne.jp/~tosiharu/index.html

※ヤフー検索ページから川村敏晴で検索できますので、ぜひ一度お越しください。

- ブログ : http://kawamuratoshiharu.com/

携帯電話の方は、QRコードからどうぞ。

